

頑張っています・組合員だより



(寒冷紗におおわれた牛舎屋根) (広島市・渡辺牧場)

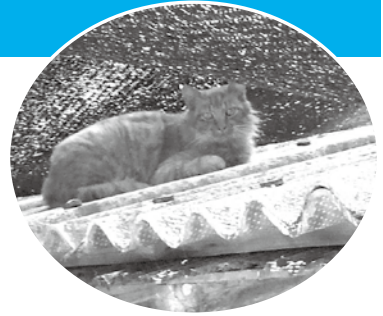
圭介さんは「今年は扇風機を増設したこともあり一概には言えないけど、来訪者からの感想も含めて体感温度は非常に涼しくなったと感じています。牛舎内外の気温差は曇天・雨天時には二〜三℃、晴天時では五℃程度。今後は更に寒冷紗も設置したい。徳島県の渡邊徹先生からヒートストレスを感じる十九℃から扇風機を回すようにとの指導から暑熱対策は春から取り組み、環境・エサを把握して、一つずつ問題を潰していくことが大切だと思っています」と牛の観察と相まって積極的に牛舎環境の改善に取り組んでおられました。

伺いました。

一方、この夏の暑熱対策に備えて、去る五月二十三日、橋本牧場では牛舎屋根にホワイトD(ドロマイト石灰)塗布を施しました。その後の状況や効果等を同牧場後継者の圭介さんに



「ホワイトD」塗布に効果あり
畜舎内外の気温差を体感
(三次市・橋本牧場)



(寒冷紗と牛舎屋根の間で涼む猫)

涼しいーにや〜
猫も涼しむ寒冷紗の威力

皆さん、夏の猛暑や夏の対策は充分でしたか。西部管内の渡辺和裕組合員は牛舎屋根に寒冷紗を覆い、暑熱対策を講じておられました。丁度、お訪ねした七月下旬も酷暑日で、大変暑い時間帯ではありましたが、この効果は素晴らしく猫も涼しんでいました。

広酪西部地域組合員連酪協議会

6/20 J A 広島市伴支店

受精卵事業で
所得アップを!
総会・全役員留任決定



広酪西部地域組合員連酪協議会(岡崎博明会長)は総会を開催。会員他十一名が出席した。総会では平成二十三年度決算報告と平成二十四年度事業計画、役員改選の三議案が上程され、何れも承認された。役員改選では、会長に岡崎博明氏、副会長に久保田義親氏、監事に佐川イサノ氏の留任を決定し、事業計画には、受精卵移植事業の利用で所得向上を図るため(有)竜王産業(府中市上下町)、会員が出荷する日本酪農協同(株)の視察計画が承認された。

広酪西部ミルク会

7/3 西部事業所

初乳の大切さを再認識!



広酪西部ミルク会(砂子靖子会長)は、大畠達夫係長(広酪事業推進課)を講師として「哺乳乳から育成の飼養管理」を学ぶ研修会を開催し、会員他十五名が参加した。

大畠係長は「人間は胎盤を通じて子どもに免疫を送る事が出来るが、牛は胎盤を通じて免疫を送ることが出来ない。このため分娩後の初乳を飲ませることによって小腸の細かい間隙(かんげき)から体内に

免疫を取り込み吸収する。しかし、二十四時間も経つと小腸の間隙が塞がれて免疫を吸収することが出来なくなるから、初乳は二十四時間以内に飲ませる事が重要。また、子牛は哺乳後三十分以降に水を飲ませる必要がある、この際お湯は禁物。水は第一胃に入り、飼料等と発酵し、VFA(揮発性脂肪酸)は吸収するが、お湯は温かいミルクと勘違いし第四胃に入ってしまうことからミルクが薄まってしまう。これらを特に注意する必要がある」と説明した。

会員は大変驚いた様子で聞き入り、今までに無い有意義な研修となった。その他、三橋職員から廃棄乳とならないよう初乳検査の実施を呼びかけた。

東部管内女性部合同日帰り旅行

7/3 道後温泉

みんなでいきましょう!
東部五地域合同日帰り旅行



東部地域の三原・世羅・甲奴・神石・福山の五地域の女性部は、合同日帰り旅行を企画し総勢二十六名が参加。貸切バスに同乗し「しまなみ海道」を渡り道後温泉に向かった。

平素、各地域では研修会や勉強会、旅行等が行われているが、近年、酪農家の減少や高齢化等が影響し、地域行事の開催も難しく「たまには他地域との交流も含めて一緒に出かけたらどう・・・」との声かけに応じこの旅行は実現した。

当日は「大雨洪水雷注意報」が発令される中での出発となったが、四国に向かうに連れて女性パワーをもってして雨も小降りとなり、車中は終始賑やかな雰囲気

に包まれ会話が弾んだ。道中、藤井行子さん(世羅町)の手作りのかしわ餅がふるまわれ、皆「柔らかくて美味しい」と絶賛された。

道後温泉ホテル「古湧園」では、山本礼子部長(神石高原町)の乾杯で開宴し、豪華な料理を食べながらの交流会を行った。簡単な自己紹介後は、夫婦二人だけの経営や後継者のいる経営等、様々な酪農経営体がある中で視点を変えて母の目、妻の目から息子や夫を思いやる言葉が多く聞かれた。

その後は温泉につきり、久々の再開に花を咲かせ、ゆっくりと時間を過ごし、たくさんのお土産をバスに詰め込み家路についた。

総会に広酪理事を迎え 組合要望を含め意見交換



東城酪農振興会
(和田慎吾会長、会
員四名)は、平成
二十三年度の総会
を開催し、平成
二十三年度事業報
告と収支決算、平
成二十四年度事業
計画案と収支予算
案を何れも可決承
認した。

併せて、地元選
出の岩竹重城理事、
道下伸雄理事、櫻
木茂夫事業推進課
課長補佐(以上、広酪)を来賓に迎え、東城酪農振興
会の意見要望を伝える意見交換交流会を開催した。

この企画は、同会発足後、初の試みであり、地元
理事との意見交換は盛り上がり、参加会員は満足
の意見交換であったと評価し、次回もこうした交
流を持つことを決意していた。

同会では後継者就農が進み、各自、酪農経営にお
ける「夢実現」を描いている。今後、更なる躍進に
期待したい。

甲奴・神石合同畜魂祭 無病息災を願い再スタート



た。溝辺清春さんが進行し、河上会長は「神
石地域も五戸となつて活動が難しくなつ
ていたところ、昨年、甲奴郡酪農組合か
ら畜魂祭参加の声を掛けて頂き、そのご
厚意に甘え一緒に畜魂祭を開催出来た。
このことに感謝すると共に今後も声をか
けて頂きたい」と挨拶された。

続いて、西中晃参事(広酪)から「合同慰
霊祭の趣旨に多数の方が賛同し、参加さ
れたことは大変意義深いことと思います。

昨年、牛や人の痛ましい事故があつた
ことを受け、祭前に両会長、組合長が玉
串を奉奠され、無病息災を祈願された。
改めてまして、皆さまと愛牛の健康を願っ
てやみません」と今年一年、事故が無いこ
とを祈り、参加者全員で乾杯した。

参加者は若者から女性、壮年者と年齢
層も幅広く、終始和やかに会場一杯の笑
い声や懇談で賑やかな交流会となった。

あつという間に時間も経過し、閉会に
あたり伊達組合長から「今日は楽しく過ご
せた。これで牛も人間も一年、元気で乗
り切ることが出来るでしょう」と締めくく
られた。

甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長)と神石
地域酪農生産振興協議会(河上康則会長)
は、初の合同畜魂慰霊祭を出雲大社分院
(三次市三良坂町)で行い、会員ら二十六
名が参加して玉串供養を行った。

その後、会場を移し合同懇親会を開い

福山地方酪農協議会

7/11 近藤仕出し店

平成二十四年度総会 感動・感激・達成感の 酪農を目指して

福山地方酪農協議会(山本芳紀会長)は、二十三年度総会を開催した。山本会長は、らくのうだより六月号の表紙に触れ「我々酪農家は日頃、感動・感激・達成感を感じることが少ない。改めて足元を見つめるきっかけとなった。良い言葉に感謝する」と挨拶された。議事進行は、副会長の淵上増廣さんによって行われ、全議案承認された。

事業計画では、生乳生産の品質向上を目的とした事業活動を実施し、研修会、優良精液、牛群検定、暑熱対策等に取り組む基本方針を決定した。

また、市川貴英所長代理(全酪連三次駐在員事務所)による「夏場のDMI(乾物摂取)を上げるために乳糖に着目」と題した研修会を行い、今、悩まされている夏場の飼養管理に参加者らは熱心に耳を傾けられていた。

その他、懇親会も開催され、西中晃参事(広酪)から組合の方針や事業計画、DMSシステムによる経営分析の活用推進をうながした。

富井政樹常務(山陽乳業(株))が日頃の生乳供給への感謝と共に乾杯の発声を行った。関係機関担当者らも含めて組合員と有意義な意見交換を行った。



世羅郡酪農振興協議会

7/13 世羅郡甲山町すずらんホテル

今日の酪農の礎を 築かれた先輩に感謝

世羅郡酪農振興協議会(鈴木道弘会長)は、平成二十三年度総会を開催。

鈴木会長は挨拶で「広酪の通常総会では活発な意見も出たが、このことを理事会等で検討して皆さんの利益に繋がるよう努めていきたい。また、昨年度は会員のご家族が続いて亡くなられ残念だが、酪農の礎(いしずえ)を築いて下さった先輩方に感謝を……」と皆で黙とうを捧げた。

来賓挨拶では、山本武組合長(広酪)から酪農情勢を交え広酪の取り組み等を説明した。続いて、山陽乳業(株)、世羅町産業課、診療所、農済などの自己紹介を含めた祝辞が述べられた。

総会議事では、二十三年度活動報告並びに決算報告、二十四年度活動計画案並びに予算案が上程され、全て可決承認された。

閉会にあたり内海利彦副会長は「今年一年、皆さんと一緒に頑張ってきた」と締めくくられた。その後の意見交換会では、和気藹々と穏やかな時間を過ごされた。





猛暑続きで今夏の生産を危惧 第七回総会

三原市酪農振興会(新舎和久会長)は、第七回(二十三年度)総会を開催し、議事進行は玉川功土副会長によって行われた。新舎会長は挨拶で「昨年の生産の落ち込みで、今年度は広酪も増産計画のようだが、暑さが牛に影響しなければ良いと願う。また、会員も少数になったが、研修会などを重ねて協力して行きたい」と述べられた。続いて、来賓の隅屋寒三専務(広酪)が今年度の事業内容や情勢を説明し、上程された議案は全て承認された。

その後は、東部畜産事務所による口蹄疫、アカバネ病発生、暑熱対策などの注意喚起やその対策等が説明され、会員、関係機関の担当者らは昼食を交え、日頃の問題や今後の行事等話し合い、有意義な懇談と意見交換を行った。

行政とタイアップで 酪農振興を図る

あきたかた酪農振興会(泉秀利会長)は酪農振興を図るため、安芸高田市産業建設常任委員会の委員全員(常任委員六名)参加の中、意見交換会を開催し、会員他十七名が参加した。

泉会長は「二年前、市内の三つの酪農団体組織が一つになった。常任委員の中からもっと色々な意見が述べられる意見交換が出来れば、との心温まるお言葉を頂戴し、今回の開催に至った」と御礼を交え挨拶を述べた。前川正昭常任委員長は「稲作部会等他団体との交流は既に行われていたが、酪農団体との交流は無く、本日開催出来たことは、今後の酪農発展に繋がるものと思う」と述べられた。

提案もあつたが「本日の意見交換を含めて今後も継続した意見交換が重要」と常任委員からの意見があり、継続して意見交換の場を設けることで締めくくられた。

意見交換会では様々な要望や

